

新宮山彦ぐるーぶ 第1759回

南奥駈道(持経宿↓太古ノ辻↓関迦坂峠↓前鬼)安全点検巡視

◇ 実施日：平成26年4月11日(金)～12日(土) 晴・薄曇

◇ 参加者：青木宏充、川島 功、前田 正、児嶋道夫、

生熊千満子。 計5名。車回送者：大江徳子。

土日に作業を計画していたが、日曜日は雨の予報で、先週の予期せぬ雪時雨に遭った事から、急遽一日前倒して実施する。

カナウナギトンネルを抜けた地点の通行規制(15:00～15:30)通過に合わせて、新宮を13時30分に発つ。

ダム湖畔の桜は、満開を過ぎていているが、国道455号線に入り高度を上げるにつれ白のコブシ・淡いピンクの山桜、木々の芽吹きの色が交雑した山容が望まれ、春本番を実感する。

白谷林道は、近年にない路面整備が良い状況で、途中千年松手前尾根で間伐材を搬出する架線業者の車とすれ違う。工期は4月一杯とのこと、又尾根を越えて池郷林道側へ工事業者が入っているとの情報を得た。

児嶋さんは今夜のバッテリーによるLED照明、生熊さんに不動堂のお供え替へと掃除を頼み、前田・川島で千年檜祠のお供え菓子・お神酒・シキミを替えに行く。

戻ると誰か薪を切っている、あれー一人増えているやないか！青木さんだ。今朝前鬼ゲート前に駐車し、鋸で切れる倒木を約5本処理して先刻着いた、大概回り込み歩行に支障無いとのこと。

先週に続き大阪から協力を馳せ参じて下さり、本当に助かり有

難い。水場ホースは、昨秋児嶋さんに固定した頂いたお陰で、順調に流れており路端で水が汲める。

不動堂の鍵を託る事を忘れ、堂内のお供えが替えられず手前のお台に供え、明日の安全作業を祈願して皆で勤行。

「明日で南奥駈道の安全点検巡視終了」の前祝で乾杯！

暖かいストーブの側とLED照明の下で、各自持参の弁当やおかずを出し合って、お下がりのお神酒、沖崎さん気遣いの冷えたビールで歓談談笑する。下戸の者が多く21時前には就寝。

風も弱く夜中起きれば、月明かりと星空に癒され、ついでにストーブに薪をつぎたす。

寒くは無いが早く寝たこともあり、4時過ぎに目を覚まし5時に起床。ストーブ上に置いたヤカンのお湯等で各自朝食を摂る。



南奥駈道の点検巡視無事完了の前祝！ 持経宿いざ出発！

阿須迦利岳の登りは、急な登りが続き歩き初めには堪える、

倒木・落枝があれば一息つけるのだが・・・25分で阿須伽利岳へ。児嶋さん自作の標識は、プラスチック板にテプラで黄テープに黒の印字、赤の矢印で結構目立つ。

栓生木を支点にした鎖場は、昨春に玉岡・生熊さんが食い込んだ鎖を外し、新たに余裕も持たせた鎖支点は文句無く安全だ。

証誠無漏岳で小休止。尾根や斜面の篠竹は、何故か全面に枯れ千日刈峰行で苦勞した作業がうかがえず、これからの歩行者には体感出来ない山容尾根になっている。

涅槃岳手前の尾根に残雪がある。前回この地点には無く太古ノ辻からの斜面残雪が心配される。涅槃岳まで青木さんが、鋸で倒木処理された事もあり、チェーンソーの出番が無い。



児嶋さん自作の標識設置・助手生熊さん。涅槃岳直前尾根に残雪だ！

涅槃岳の下りに青木さんが残した斜木があり、支障となるので鋸で切り倒す。低タワ手前の崩落箇所は、多少侵食崩壊が進んで

いる程度と判断した。剣光門（低タワ）で小休止、バイケイソウの新芽が一斉に芽吹いている。

昨春標識杭を支点にしたトラロープを変更した地点で、岩稜右側のトラロープ伝いに尾根に登り、P1317mを越え一登りすると滝川辻である。岩峰の般若岳の基部を左側より回りこみ奥駈縦走路へ。

地藏岳手前の緩やかで広い尾根には、朽ちた倒木が横たわり何処が南奥駈道か判りずらく、朽ちた倒木を2本切り、跨いで通ることが無くなり、南奥駈道を判り易くする。

地藏岳(小守岳)で小休止。薄曇りであるが、出発時に比べるとさわやかな風になり、眺望も良く南に台形の笠捨山、さらに遠くに鷲ノ巣山・鶴山、東に大台ヶ原山系、北に釈迦ヶ岳が真近かに見える。一下りすると嫁越峠へ、石柱標識が倒れかけており、2少し戻すが根本策にはならない。

天狗の稽古場を過ぎ、奥守岳直前の尾根に倒木が4本あり跨いで通っている。昨春の点検巡視の折にチェーンソーのチェーン刃が外れ処理出来なかった倒木である。チェーンソーで2本切、3本目を切り出すと、石に当たった訳ではないと思うが、チェーンソーが全く切れなくなる。残り2本は切断寸前で停止し手鋸で切断し除けて貰う。

カバーを外す前に燃料とオイルを点検すると殆んど無い。原因は燃料・オイル不足？でなく石等で刃を傷めたと思われる。

カバーを外すが替刃は規格が違う様だ、丸ヤスリを持参忘れしたので木屑を除き再組立し、試切すると先程より切れる様になる。早朝発ちと空腹が重なり奥守岳から天狗山への登りは、足の運

びが鈍くなるが、天狗山で昼食を決め込んで頑張る。

天狗山(三等三角点)の山頂は、多少風があるが、汗をかいた体には心地よい春風である。昼食は各自パン食かと思ったら、烏帽子山踏破時いなり寿司で食が進んだと聞いていたからと、生熊さんいなり寿司を2バック余分に持参して下さり皆で召上がる、有難い事にパンを持ち帰る事になった。

ブナ・ヤシオ類の木の芽の蕾が固い中に、黄色の細い花が咲いている、生熊さんマンサク？ マンサクの花木が2本あり満開だ。



嫁越峠の石柱標識を立て戻す

天狗山・昼食後の出発前

天狗山を下った所で単独の登山者とすれ違う、平治宿泊りとの事だが、毛布有り、水も汲み置きしたので持経宿泊りを勧める。

石楠花岳の巻道に径30cm強のツガが倒木している。先刻より切れる様になったチェーンソーで時間をかけ切断し、ロープを架けて引っ張り除ける。

蘇莫岳の下りで朽ちた倒木を処理し太古ノ辻へ。涅槃岳の尾根に残雪があり、太古ノ辻からの急斜面に残雪が多く残っていると思っていたが、残雪が残っているが道が殆んど露出し安堵する。小休止し、池郷林道の通行不可の標識期限を4月末に修正する。

太古の辻から下った階段で雑木倒木を処理する。今回の点検巡視で約12本をチェーンソー処理したが、昨秋から今冬間の倒木は約4割であった。

谷沿いの道迄下ると、釈迦ヶ岳に登る2名の登山者とすれ違う。二つ岩(両童子岩)で最後の休憩。その間に兎嶋さん7枚目の標識を設置する。急な階段を下った俱利伽羅石下に関迦坂尾根への分岐標識がある。基部を横切り鎖場の鎖を掴んで下る。鎖の支点は安全面で問題が無い。

根の露出した尾根には、朽木がかなり倒れこんでいたが、3除けながら辿る。眼前の五百羅漢の眺望がすばらしい。右のヒメシヤラ純林を下ると、所々白いコブシの大木が目を引き、自然林尾根の雰囲気疲れを癒してくれ自然と歩が進む。

関迦坂峠で休憩せずに生熊さん先導で小仲坊へと向かう。裏行場への奥駈道であるが、斜面を横切るトラバース道は、狭く所々崩れている、行場への道でありふさわしいのかな？

ミツマタ群落の斜面が望まれると小仲坊である。横道を辿っていると、そこから降りて下さいと五鬼助さんの声がする、川島さんかと声がかかり、下って南奥駈道の安全点検巡視終了の報告と挨拶を交わす。大江徳子さんが迎えに来て下さっているが、ゲートの鎖が掛かり歩いて13時頃に着き待機との事。

お堂前で勤行後、コーヒータイムの間に、五鬼助さんに大江さ

んと登山者2名をゲート前駐車場へ回送して頂く。

大江車が迎えに戻って来る。沖崎さんから池原公園で待機・合流する旨の電話連絡がある。ゲート前駐車場で帰阪の青木さんと別れる。

池原公園で行仙岳く持経宿の点検巡視を終え、川島車を回送した沖崎・畑林・大江加さんと合流。川島車に前田、大江徳車に沖崎・畑林・大江加、児嶋・生熊千が分乗し、流れ解散とする。

行動タイム

4月11日(金) 晴・薄曇

新宮 13:30→14:55 通行規制地点 15:00→15:15 白谷林道口→15:55 持経宿→千年松祠往復 16:40→水場往復→17:00 持経宿。

4月12日(土) 快晴・薄曇

持経宿(約 1055m) 6:05→6:30 阿須迦利岳(1251m) 6:35→7:05
証誠無漏岳(1301m) 7:10→7:40 涅槃岳(1376.2m) 7:45→8:00
剣光門(約 1195m) 8:10→8:40 滝川辻(約 1310m)→9:35 地藏岳
(1464m) 9:45→10:00 嫁越峠(約 1345m)→10:45 奥守岳(約
1485m 田)→11:05 天狗山(1536.8m) 11:45→12:45 太古ノ辻
(約 1455m) 12:55→13:35 ニッ岩(約 1250m) 13:45→關越坂
峠(約 890m) 14:45→15:15 前鬼・小仲坊(約 810m) 15:45→
16:20 池原公園 16:45→17:45 新宮。(川島 記)



太古ノ辻で池郷林道通行止め期間修正 小仲坊・ミツマタの花前で